

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日:2021年12月1日

事業所名:カルティボ キッズ

サービス種類:児童発達支援・放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	運動プログラムも行えるプレイルームと個別に勉強できる勉強ルームに分けて、十分なスペースの確保をしている。	はい=25、どちらともいえない=1、 いいえ=0、わからない=1 ・活動しているところを見ることが見えないので、よくわからない。	コロナ禍が落ち着いた際には参加日等を実施し、スペース等の把握をしてもらえる機会を検討する。
	2 職員の適切な配置	保育士、児童指導員と経験豊富な職員を配置している。言語聴覚士、理学療法士等の専門職員も募集をかけている。	はい=23、どちらともいえない=1、 いいえ=0、わからない=3 ・発達テストができる環境がいい。 ・専門の先生の入替わり等で良くわかっていません。すみません。 ・あまりくわしくは理解していません ・安全に配慮されています。	言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、臨床心理士など専門家の確保に努めていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	視覚優位の児童に分かりやすくイラストで一日の流れを説明したり、やってはいけないことを知らせたりして効果を上げている。	はい=26、どちらともいえない=0 いいえ=0、わからない=1 ・子どもに分かりやすく、工夫されています。	引き続き、視覚優位の児童により分かりやすく、イラストと文字を用いてを使用していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	清掃は朝、昼、夕方に行っており、子どもの入れ替え時には使用した物を除菌するようにしている。スタッフ、子ども達が外から室内に入って来た時は、除菌手洗い、うがいをしっかりとるように指導している。ペーパータオルの使用、アルコール消毒の徹底、空気洗浄機の導入を行っている。	はい=26、どちらともいえない=0 いいえ=0、わからない=1 ・コロナ禍でできる最善を尽くしてくださっているとします。	引き続き職員全員でチェックして、清掃する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	朝礼、昼礼、フタツミーティングにおいてPDCAをチェックし意見を交換し取り入れている。		引き続き業務について、計画から見直しに至るまで手順を明確にし、PDCAを活用し業務改善に努める。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者評価は現在行っていない。		保護者様のご意見を聞きつつ、必要があれば設置していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	内部研修を定期的に行うとともに、動画配信研修を用いて、職員全員がいつでも研修できる体制を整えている。 また、外部研修にも職員が積極的に参加できる体制を取っている。		引き続き、内外研修に積極的に参加し、資質の向上に努める。
1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの担当を決め、しっかりとその日の様子を見て記録し、課題、評価を行っている。スタッフの意見を取り入れ保護者の方と面談(モニタリング)をしてから支援計画書を作成している。	はい=27、どちらともいえない=0、いいえ=0、 わからない=0 ・個々に合った対応をしていただきます。	今後も、引き続き取り組む。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの状況に合わせて個別プログラムを実施しつつ、集団活動を行っている。また発達状況を常に見極め記録し、個別と集団活動とその記録をスタッフミーティングで検討し個別支援計画書の作成を行っている。		今後も引き続き取り組む。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画書の項目に、日常生活、運動、コミュニケーション等を主要項目として設定している。また、保護者様の要望等を取り入れた項目を入れながら作成している。支援方法についてはスタッフ間で話し合いながら、具体的な方法を記載している。	はい=25、どちらももいえない=1 いいえ=0、わからない=1 ・子供のこだわりが強いところを気をそらせるように他の事に集中できるようにうながしてくれる。	今後も、継続しながら、より支援の内容の充実した支援計画書の記載に努めるようアセスメント会議を充実させる。
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画書の内容に沿った適切な支援が行われているか児発管、指導員が常に意見を交換し、適切な支援の実施を行っている。	はい=26、どちらももいえない=0 いいえ=0、わからない=1 ・実際に支援を見れるチャンスはなかなかないので、その辺りはこちらではわかりづらいです。	引き続き、子ども達の成長を注意深く観察し、支援計画書の内容を随時スタッフ、保護者の方と相談説明を行い適切な支援の実施を行うよう心掛けている。
適切な支援の提供(続き)	5 チーム全体での活動プログラムの立案	職員全体で話し合い、活動プログラムの立案を行い、その周知を行っている。		スタッフからの意見やご利用される方の希望などを取り入れて個別対応やチーム全体でできる楽しく参加できる活動プログラムを立案していく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は学校の放課後対応として宿題、個別課題、集団プログラムを行い、休日にはわくわくプログラムや外出体験、長期休暇時にはそれぞれの季節に応じたプログラムを作成して対応している。		今後も引き続き取り組む。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	ミーティングを通して活動プログラムは常に見直し、マンネリ化しないように新しいアイデアを常に提案できる体制を取っている。	はい=26、どちらももいえない=1 いいえ=0、わからない=0 ・毎月色々なプログラムを考えて頂き楽しく利用させてもらっています。 ・いつも楽しんで来ています。	引き続き、活動プログラムの固定化、マンネリ化しないように情報収集を行い、スタッフ間の情報共有、保護者の方との意見交流を行っていく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼、昼礼時には当日利用予定の子どもたちの個別支援計画書の内容を確認し、それぞれの目標にあった支援が実施出来るようにしている。また、変更等がある時には的確に指導員間で伝達確認出来るようにしている。		今後も引き続き支援前ミーティングを行う。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	個別支援ファイルを作成し、スタッフが最新の状況、情報を確認できるようにしている。		今後も引き続き、取り組む。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	連絡帳、業務日報の正確な記録と、支援内容の検証、改善は常に行い指導員間で情報伝達を共有している。		今後も引き続き、取り組む。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングは最低6か月に1回行っているが、支援の内容変更が確認された際には随時行っている。		今後も引き続き、取り組む。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	相談支援事業所のサービス担当者と電話や面談にて会議を実施する。その際、代表社員、児発管は参加するようにしている。		今後も引き続き、取り組む。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	送迎時学校の先生などにお会いした場合には積極的に学校での様子などを聞くようにしている。 必要に応じて学校、事業者間で連携を計り、情報共有を行っている。		今後も引き続き、取り組む。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	小学生までの放課後等デイサービスなので、現在は行っていない。必要な状況になれば情報共有を行っていきたい。		必要な状況になれば、情報提供に努める。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関と連携、研修受講の促進は今後とも行っていく予定である。		引き続き、積極的に研修会等に参加する。
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在は交流の場の提供は行っていない。	はい=6、どちらともいえない=3 いいえ=2、わからない=15 ・現状はコロナがあるので、他の子どもとの交流は心配。 ・私自身カルティボ以外の交流をわかっておりません。	個人情報の観点から、現状は行っていないが、保護者様のご要望があれば検討していく。スタッフの子どもなど身近な所からの関りを検討していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナ禍と言うこともあり、地域住民等の招待など行っていない。		保護者様からのご要望があれば検討していく。
保護者への説明	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	保護者に対して支援内容と利用者負担については見学会、モニタリング、重要事項説明時、契約書締結時に丁寧な説明とともに行っている。 ご利用者の実費負担については毎月の会報でご連絡している。	はい=27、どちらともいえない=0、いいえ=0、わからない=0	たくさんの保護者の方々から丁寧な説明を頂いていると評価いただき、一層ご期待に添えるようにしたい。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を心がけており、内容の変更があれば随時行っている。	はい=27、どちらともいえない=0、いいえ=0、わからない=0	保護者の方に分かり易い支援内容の計画書作成と丁寧な説明を今後も継続していく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者からの子育て悩みに対する相談へは個別に対応している。	はい=12、どちらともいえない=4 いいえ=2、わからない=9 ・ペアレント・トレーニングという形で実施されているかよくわかっておりません。	コロナ前は実施していたが、コロナが落ち着き、集会などができるようになれば実施の検討をしていく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	子どもの発達の状況や課題は、日ごろから保護者との共通理解をもつために連絡帳、電話、メール、送迎時を通して徹底している。	はい=26、どちらともいえない=1 いいえ=0、わからない=10 ・通所の度にその日のことを紙面(写真入)でも残して下さるので、分かりやすいです。	今後も保護者の方とへの連絡、報告など共通理解を得るため、徹底する。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からの子育て悩みに対する相談へは適切に対応できるよう心掛けており、必要な助言はスタッフと情報共有を行っている。	はい=23、どちらともいえない=2 いいえ=1、わからない=1 ・上手な声のかけ方など、アドバイスをもたらしている。 ・困り事や対応の仕方などをいつでもアドバイスしてくれます。	今後も引き続き、悩みに対する相談は細かな点からも気が付くように職員一同心掛けていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
明責任・連携支援	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在はコロナ禍で実施出来ておりませんが、コロナが落ち着いた際には茶話会など定期的に開催する計画をしている。	はい=8、どちらともいえない=5 いいえ=7、わからない=7 ・開催がコロナ禍で難しいが以前は保護者の会が何回か開催されている。 ・通所されている保護者の方(息子がよく名前を出す児童)などがどんな方なのか全く分かりません。近所でお会いしているかも?ぐらいな感じです。 ・同じ幼稚園で通所されている方とお話する機会も無いです。 ・コロナのため今はできないことを理解しています。 ・コロナ前はありました。 ・(今のコロナ禍では、ムリです)以前は他の方とお話ができると勉強になりました。	コロナが落ち着いた際には検討、実施していく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	重要事項説明書に明記しており、契約時には必ず説明している。	はい=19、どちらともいえない=0 いいえ=0、わからない=8	引き続き、皆様に満足していただけるような支援を目指す。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	送迎時に情報を共有して意思の疎通を図るようにしている。並びに電話、メール体制のチェックを日々行うようにしている。	はい=26、どちらともいえない=0 いいえ=0、わからない=1 ・とても気を遣ってくださっています。	引き続き、メールや電話等を利用して情報伝達を行っていく。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月の会報は用紙で行い、活動概要や行事予定、連絡体制等はメール、電話、訪問時で的確に情報発信できるようにしている。またブログを用い、活動内容をよりイメージできるように発信している。	はい=26、どちらともいえない=0 いいえ=0、わからない=1 ・早めに次月の予定や活動内容をお知らせしてくれます。	引き続き、会報、活動概要、行事が分かりやすく楽しめる内容にしていく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報保護法の周知徹底を行い、日々の業務、仕事以外での個人情報の保護に職員間意識を徹底している。	はい=26、どちらともいえない=0 いいえ=0、わからない=1	引き続き個人情報についての研修を定期的に行う。
	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを策定しファイリングして職員が閲覧できるようにしている。保護者の方にはご希望があれば閲覧できる環境を整えている。	はい=26、どちらともいえない=1 いいえ=0、わからない=0	引き続き職員ミーティング等でマニュアルの周知徹底を行いながら、変更点等あれば随時見直しを実施していく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	消防署の行っている救命救急の研修には積極的に参加している。また避難訓練は火災、防災等、定期的に行っている。	・はい=20、どちらともいえない=1 いいえ=0、わからない=6 ・避難訓練を実施しているかわかりません。	会報等で避難訓練の実施の予定や結果をお知らせしていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	内部研修を定期的に行うとともに、外部研修にも積極的に参加している。		引き続き、実施していく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束防止委員会を設置し、毎月のミーティングで身体拘束に該当する行為がないかの確認を行っている。		引き続き、全員で注意しながら身体拘束を行わないようにしながら療育を実施する。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時に食物アレルギーについて聞き取りをしており職員に周知徹底している。		引き続き、おやつ時には食物アレルギー表を確認するよう徹底していく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例集は作成しており、朝礼時に共有しながら再発防止に努めている。		職員全体で情報共有し検証および対策を講じる姿勢を継続する。